

式辞

「人はみな なにかにはげみ 初桜」

「人はみな なにかにはげみ 初桜」(深見けん二)

桜の季節は、みなさんが、何かに励み始めます。何かをスタートさせます。それが春という季節です。

みなさんも中学生という年代を励み始めます。それが今日からです。

今日のような、何かを励み始める春のよき日に、たくさんのご来賓の皆様のご臨席たまり、さらに、多くの新入生保護者の皆様のご出席を頂戴し、春日部市立東中学校第56回入学式を挙げていきますことに、衷心から御礼と感謝を申し上げます。

ただいま、呼名をもって確認させていただきました209名の新入生の皆さん、東中学校という、市内屈指の歴史と伝統のある本校への入学、おめでとうございます。本校教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。また、本日の入学をお喜びの保護者の皆さまに、心よりお祝いを申し上げます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは今日から中学生です。そこで、私からお祝いの言葉として、二つのお話をしたいと思います。

一つは、今年56年目を迎える東中が進む方向です。

二つ目は、年度の初めの4月という月について話します。

では、一つ目のお話です。

先ほどから申し上げているとおり春日部市立東中学校は今年、開校56年目を迎えます。半世紀を超える歴史は、ある意味で人の生涯にも匹敵する数値です。これが、百年、千年と続くことを願いながら、母校の誇りを胸に、毎日を生活してください。そして、学校教育目標の目指している生徒の姿、「意欲ある生徒」「協力し合う生徒」「責任を果たす生徒」「感謝のできる生徒」「夢をもつ生徒」の五つを忘れないことです。忘れないためにも、今年には次の言葉を使いたいと思います。

「スマイル東中56」です。

周囲との関係を大切にするために、「笑顔」と「あいさつ」を大切にしてほしいのです。人は環境に左右されます。しかし、その環境をつくるのは人です。ですから、自分たちの力でその環境をよくしてほしい願いを込めて「笑顔」と「あいさつ」を大切にしてほしいのです。そうすることで、周囲との関係がよくなり、自分たちの生活環境もよくなります。

さらに、その「笑顔」と「あいさつ」を大切に、自分の生活環境をよくするためにも、次の五つのことを意識してください。「56」という言葉にかけています。

一 56は、語録です。言葉を意識しましょう。

二 56は、語呂です。言葉遣いを大切にしましょう。

- 三 56は、医務（いむ）です。健康や安全に気をつけましょう。
- 四 56は、ゴロです。地に足をつけて落ち着いた生活をしましょう。
- 五 56は、「ころ合い」です。タイミングよく学習・運動をしましょう。
「スマイル東中56」を忘れずにいてください。

では、大きな二つ目のお話に変わります。四月という月は「希望」の月です。どんな四月にしたいのかお伝えします。

4月は「希望」の月です。希望を語りましょう。

4月は夢を抱く月です。夢を抱きましょう。

4月は志を確かめる月です。志を確認しましょう。

希望や夢や志は、目的になり、目標になります。

そして、それは課題となって、

いつか必ず現実になります。実現します。

実は、「夢しかかなわない」のです。

誰かが言いました。責任とは、夢から始まる生き方だと。

夢から責任は始まります。

In dream begin the responsibilities.

みなさんの希望・夢・志を応援します。

これら二つのお話は、今日発行の『学校だより4月号』にも書かせていただきました。
あとで読んでください。

では、まとめをします。

一 「スマイル東中56」です。笑顔とあいさつを大切にしましょう。

二 4月は希望の月です。

これを中学校入学のお祝いの言葉としてみなさんに贈ります。今日からいっしょにがんばっていきましょう。

さて、保護者の皆さま、本日の入学の喜びはひとしおであろうと想像いたします。お子様のご誕生から幼稚園・保育園への入園・卒園、小学校入学、そして、卒業。今また、中学校への入学と、日に日に成長するわが子の姿は、親としての喜びであり、楽しみでもあろうと思います。今日からは中学生、つないだ手を離して、じっと様子を見守っていつてください。「手を離して、目を離さない」姿勢をお願いします。

こんなことが言われています。「子育て」は「親育ち」だということです。子どもから、親としての自覚を促され、親としてどうあるべきかを教わっているものであると、意識したいものです。

私も、振り返ると、今だから言えるのですが、第一子である長女から「親になるにはどうしたらいいのか」ということを教わってきたと、振り返って実感しています。僭越です

が、子を育てるという意識から、「親になろう」という意識への変化が、「子育て」には大切であることを、今改めて申し上げたいと思います。

ですから、中学生という精神的に難しい時期を、学校とともに共同で子育てをしていきましょう。そして、保護者の皆様、地域の皆様、本校教職員と一致団結して、みなさんと東中学校の生徒たちを将来の宝として育てていきましょう。そのために、いつでも本校の職員にご相談ください。また、小学校の先生がたとも、地域の皆様とも連携・協力してまいります。そうして、地域の子どもたちの成長の支援ができればと考えています。どうかよろしくお願いいたします。

結びにあたり、本日ご多用のなか、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様に、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

先ほども申し上げましたが、今年度本校は56回目の春を迎えることができました。60周年の時には、東京オリンピックも終了し、2020年台に突入しています。これから東中学校は、時代感覚を研ぎ澄まし、新たな意識で、新しい時代に沿った中学校教育を進めて参ります。これからも、東中学校を地域の学校としてご支援賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

平成29年4月10日

春日部市立東中学校 校長 船田年男